



朝鮮總督府營林廠長時尾善三郎
依願免官ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク
大正三年六月二日

内閣總理大臣伯爵大隈重信



内

閣

大正三年五月 内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

外務大臣

正

大藏大臣

正

海軍大臣

正

文部大臣

正

逓信大臣

正

内務大臣

陸軍大臣

正

司法大臣

正

農商大臣

正

朝鮮總督府營林廠長時尾善三郎

依願免本官

六月二日裁可三日發

内閣

人秘 第一、三〇五番

大正三年五月二十八日

朝鮮總督府營林廠長時尾善三郎
右疾病職務ニ堪エサル旨ヲ以テ別
紙之通辭表差出候處事情無餘儀モ
ノト認メ候條願之通本官ヲ免セテ
レ度此段及稟申候也

大正三年五月二十八日

朝鮮總督伯爵寺内正毅



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

朝鮮總督府

退官願

善三郎儀

豫テ病氣静養罷在候處未々全癒不仕
加之卒中症發作以來記憶力著シク違
鈍トナリ且氣候勞逸ニ因リ舌硬リ言語不
明意思ヲ盡ク能ハサルコトアリ是等ノ為ノ曠
職ノ責モ不尠ト恐懼ニ不堪候將々現状ヲ繼
續スル時ハ腦出血發作ノ憂有之由ニ候間
旁以退官ノ上静養致度候間特別ノ御詮
議ヲ以テ退官御許可相成度診斷書相

添へ以段奉願候

大正三年五月

日 朝鮮總督府管林廠長時尾善三郎



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

診断書

朝鮮總督府管林廠長

時尾善三郎

嘉永六年正月拾日

遺傳關係及既往症

父親は五年間余中氣を罹り就床し七拾貳歳
にして没し母親は七拾四歳の時不明の病に死す
同胞五人の内妹一人腦充血に死し四人存在し兄
は月下中氣を罹り居りし

天賦頗る強健にして特記す可き者患し西雅

リタルコトナシ時候変遷、竹節感胃ヲ患ヒ易シ

嗜好由テハ酒煙草ナルモ普通通量アリ

但し西拾四年九月以來禁酒シアリ

発病来歴

明治西拾壹年六月頃より時々頭痛眩暈ノ

感アリテ夜間安眠を得ザルコト殊々甚ク

ニ甚クシテ同西拾四年六月拾七日より同年七月拾八

日迄管林廠所管上流地巡回後更ニ頭痛

増劇シ爾来頭痛眩暈食機缺損シ

来り同年九月拾叁日診断病名ヲ確定シ同年
拾貳月拾七日ヨリ熱度昂進ニ依リ同月貳拾
七日迄就床モリ當時全身倦怠感甚ク漸
次著ク衰弱ヲ来シ換尿スルニ尿ハ薄茶褐
色ヲ呈シ蛋白質ヲ多量ニ示シ其後數回換
尿スルニ尚蛋白質ヲ證明スルコト時々同四拾
五年五月拾叁日後數回換尿セシニ蛋白質ハ
一時陰性トナリモ其後今ニ出張旅行等
過度運動後ニ必ズ陽性トナリ常トス
同四拾五年九月拾四日俄カニ頭重頭内圧迫ノ

感及頭痛ヲ覺シ鼻汁ノ流出多量トナリ
言語澁滞シ末ニ右半身麻痺症ニ陥リ
今ニ加療中ナルモ諸症良好ナラス

現症

体格佳良營養中等ニテ四肢ノ骨格發
育佳良ナリ皮膚彈力ニ乏シ皮下脂肪減
退シ輕度ノ貧血ヲ認ム脉搏六拾六至呼吸
數十五回諸腺ノ硬結腫脹等ヲ認ム腫
孔反應ニ異常ナリ舌ノ運動稍遲鈍ニシテ
口唇ニ突音時左下方ニ緊索列セラレ咽頭加

脊兒^アテ^テ動脈硬變^{アリ}心臟濁音界^カ左
方乳線外半指橫經^ニ出^テ右方^ハ胸骨中
線上方第四助骨上緣^ニ致^シ第二動脈
音強盛^ス其他呼吸器異狀^{ナシ}腹部適
度^ニ膨滿^シ胃部^ニ圧頭痛^{アリ}他諸器
臟^ノ位置境界尋常^ニ硬結^{ナシ}腹
壁反射消失^シ拳擊^ニ膝反射^右正^カモ^カ
消失^ス膝蓋^ニ膝反射^右常^カモ^カ消失
不知覺^ハ右半身輕度^ニ麻痺^{アリ}步行^ニ

障害ナシ

自覺的頭重頭痛頭内圧迫感全身倦
怠感及^シ神心疲勞^易記憶力著^シク
減退^シ食機便通常^ト大差^{ナシ}味覺^正
ナルモ嗅覺^無

病名

慢性腎臟炎 腦溢血

豫後

全治^見込^テ下^カ過^度運動^後ハ^ハ衰
白質^ヲ證明^シ且^ハ半身^知覺^麻痺^ヲ續^クテ^ハ

今、輕快也。故何時腦出血ヲ發作スルヤモ計リ
難此際職務ヲ廢シテ充分靜養ヲ要ス
療法

安靜ヲ守リ刺戟ノ食物感日月及神心ノ勞
働ヲ避クルヲ第一トシ藥物トシテハ次利ノ内服ヲ
繼續ス

右及診斷矣也

大正三年五月七日

管林廠囑託医 宇佐英雄

裏面白紙

130

別紙 時尾 善三郎 免官
朝鮮總督 以上之書 進達不
天正三年 二月廿九日

内務大臣伯爵大隈重信



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

内務省